



T O K Y O R O P P O N G I R O T A R Y C L U B

東京六本木ロータリークラブ



『ロータリーは分かちあいの心』

～Rotary Shares～
国際ロータリークラブ会長

発行日 2008年2月4日

No. 23

『一歩一歩進もう』

～Let's Move Forward Step by Step～
東京六本木ロータリークラブ会長

W E E K L Y R E P O R T



平成20年1月21日
卓話『日英外交関係150周年』
駐日英国大使
グレアム・フライ 様



私が日本にきたのは34年ぐらい前ですから、私の仕事のほとんどは日本との関係だったように思います。150年前に最初の通商条約が調印されてイギリス公使オルコックが横浜に来ました。尊皇攘夷の時代で浪人が襲ってきた事件もありました。そして明治維新でイギリスから技術者やいろいろな人が日本を訪問して非常に仲が良くなった。日英同盟が1902年にできて20年続いた中に日露戦争があって、イギリスに留学した東郷平八郎が日本海海戦でイギリスで作られた三笠で勝利を収めたわけです。残念ながら日英同盟が終わって第二次大戦になってしまいましたが、徐々にまた関係が回復して、今、日英関係は一番友好な時期だと思います。しかし課題はいっぱいありますので、いろいろ協力できると思っています。

今年はG8で日本が議長国になります。主なテーマはアフリカと開発、気候変動。日本の方にはどうもアフリカが遠いというイメージがあると思いますが、人道的な問題もありますし、アフリカがうまくいかない場合、いろんな問題が寄せてくるという利害関係もあります。特に最近、アフリカで中国は大変活動してますから、私たちがアフリカに協力しないと中国が好きのようにやることになって心配になると思います。

気候変動ですが、日本とイギリス、EUは京都議定書のときから密接に協力しています。私は日本の優れた技術を世界に広めていただきたいと思います。日本は太陽エネルギー、省エネの関係もナンバー1で原子力も進んでますから日本に大きなチャンスだと思います。世界のCO2の排出量を2050年までに50%減らすという目標はいいと思いますが、中国やインド、発展途上国は私たちの水準にまだまだ達してないわけですから、やっぱり優遇しなければいけないので、私たち先

進国は60ないし80%減らさなければいけない。これ、言うのは簡単ですけど大変難しいと思います。そういう意識で私たちはこの問題に取り掛かる必要があると思ってます。



これらは今の日英間の重要な課題ですけれど、せっかく150周年ですから、やっぱり祝いしなければということで、今年100以上のイベントを企画しています。その共通のテーマは創造性です。私たち先進国は今、中国やインドという新興国と大変な競争になりそうですが、どうやったら競争できるかという、やっぱり私たちの創造性を利用する必要があります。

イベントをいくつか紹介しますと、3月からダーウィン展が国立科学博物館であります。7月にロンドンのロイヤルバレーが来ます。またいっぱいクラシックのコンサートがあります。科学では、今年慶応義塾も150周年ですので、ノーベル賞をもらった3人のイギリスの教授に慶応で講演してもらうことになりました。アースというフィリミングがすばらしい自然の映画は、どうやって撮ったのか分からない場面がいくつかあるんですね。鶴がヒマラヤ山脈を渡っていく映像は、いくら考えても分からない。そして次、これ私は一番宣伝に熱心な展覧会で、なぜかという森美術館でする展覧会だからです。これはイギリスの現代の芸術家の作品を紹介するものです。そして子供たちに楽しく科学を紹介するレクチャーシリーズをやりま。面白いので子供たちものすごく好きです。

ともかく私たちはこの一年間楽しくお祝いしようというつもりでやっておりますので、ご参加、ご協力いただきたいと思います。ありがとうございました。